

いわて木づかい宣言

県土の8割を占める本県の森林は、県の木であるナンプアカマツをはじめ、スギやカラマツ等の針葉樹のほか、木炭やしいたけ原木などにも利用されるナラ等の広葉樹といった多様な樹種で構成されています。

本県の森林資源を有効利用していくことは、「植える、育てる、使う、植える」という森林資源の循環を産み出し、適切な森林整備を通じて、地球温暖化の防止及び循環型社会の形成に大きく貢献するものです。

この森林資源の重要性を認識するとともに、森林がもたらす多くの恩恵をよりよい形で次の世代に引き継ぐため、行政、森林所有者、関係事業者、関係団体、県民等が協働し、一体となって、県産木材等の幅広い利用を積極的に進めることを決意し、ここに宣言します。

- 一 私たちは、木材利用を進め、木材利用意識の高揚や自発的な取組による豊かな暮らしと、環境への負荷を低減した快適な生活環境を目指します。
- 一 私たちは、豊かな森林資源を次の世代に継承するとともに、持続可能な森林経営・林業経営を実現します。
- 一 私たちは、県産木材の価値の向上を実現し、森林所有者及び木材の生産から利用に至る関係事業者の経営の充実を図ります。



©わんこきょうだい

令和2年9月16日

いわて県産木材等利用推進協議会会長

岩手県知事

達増拓也